漁業のための森づくりについて
「魚つき植樹」

様似漁業協同組合女性部
部長　　住岡　　操

1．地域の概況

様似町は北海道日高管内東部に位置し、太平洋に面した人口６，２００人の農林水産業の一次産業を中心とした町である。また日高山脈の最南端にあるアポイ岳は、国の特別記念物に指定された高山植物の群落地として知られている(図１)。

2. 漁業の概要

町内には東部に冬島漁業協同組合、西部には様似漁業協同組合の二つの漁協があり、私たちの所属する様似漁業協同組合は、鵜苫と様似の二つの旧漁協の合併漁協で、集落は、その旧漁協が管轄していた地区に二分されている。

海岸線は合わせて約９．２㎞ほどの距離があり、そこに１５８名の組合員が漁業を営んでいる。主な漁業形態はカレイ刺し網、タコ空釣り縄、サケ定置、ツブ篭、イカ釣り、コンブ漁業等で、平成１３年の水揚げは６，１９３トン、約１，５９８百万円である(図２)。

3. 女性部の組織及び運営

私たちの様似漁協女性部は、昭和５３年３月に、以前から活動していた鵜苫漁協婦人部と様似漁協婦人部が合併し、現在の様似漁業協同組合女性部（当時の名称は婦人部）が結成された。

当時は、女性部活動に陰りが見え始めていた頃で、部員の加入者減に苦慮していた。そこで組合の決議を経て組合員一世帯１名の加入を義務付け、今も組合員であるからには、この「一世帯１名」の条件が守られている。

現在は１２４名の部員で活動を行っており、活動費は、会費と組合からの助成金によって賄われている。活動内容は、４Ｋ運動（交通安全･海難防止・健康管理・海辺掃除）を柱として海難防止パレードでの救命胴衣の着用運動、海浜清掃、漁業のための森づくりとしての植樹活動等を行っている。

4. 研究･実践活動課題選定の動機

北海道漁協婦人部連絡協議会創立３０周年記念事業として昭和６３年に実施された「お魚増やす植樹運動」は、「百年かけて百年前の自然の浜を」を合言葉に現在も各浜で脈々と続けられている。

この活動は、個々の女性部員に「森と川と海はひとつなのだ」という漁業との大切なかかわりを理解させ、取り組みを通して浜や地域に様々な影響を与えてきている。

私たちの女性部でも、活動内容は小規模ではあるが、継続する苦労を乗り越えながら、

その意義の大きさを大切に考えてきた。その軌跡は「魚つき植樹」の取組みに始まるが、この機会に是非、全道漁協女性部員、青年部員、漁業者に私たちの植樹の歩みを通して何かを感じてもらいたいと思い、僭越ながら発表課題としてこれまでの１５年間の実績を取り上げることとした。

また、併せて、北海道森林づくり条例制定による森林と漁業のかかわり方をどうすべきかについて考える機会にしたいと思う。

5. 実践活動状況及び効果

活動状況

(1)「魚つき植樹」取組みの経緯

昭和６３年、道漁婦連が創立３０周年記念事業として、従来取組んできた「海をきれいにする運動」から１歩進め、海と川と森との関わりに注目した「お魚殖やす植樹運動」を、全道の漁協婦人部が一斉に取組む決議がなされた。その決議を受けて、私たち漁協婦人部がどのような形で取組むべきか議論された。山とかかわりの無い漁業者が何故植樹をするのか、その道理すら理解されないままに、全道漁協婦人部の決定事項だから何が何でもしなければと当時の婦人部長は組合の担当者に植樹場所の確保や苗木の選定、資金の助成を相談して何とか事業の実施にこぎつけた。この時点では、組合も私たちも一回限りの事業としての認識しかなかったが、この時初めて「魚つき林」という言葉を耳にした。

その言葉の意味すら理解していなかった私たちが、その大切さを実感することとなったのは、標津・別海地区で山林を購入し魚つき植林を行っていることを聞いたのがきっかけであった。私たちも本格的に「魚つき植樹」を勉強することとなり、その大切さを知ると、この事業を漁協女性部の事業として年次計画に盛込み、毎年継続して実施する決議がなされ現在に至っている。

(2) 植樹の実績

第１回目の植樹は、昭和６３年、様似町の協力のもと様似町立鵜苫小学校前の町有地で行った。しかし、このときの経費は、組合の助成はあったものの女性部の部費の持出しも少なくなかった。

平成元年は、様似町の協力を得て国道３３５号線塩釜トンネルの出入口付近に植樹を行った。植樹場所が、前方に様似町のシンボルでもある親子岩があり景観の良い観光名所の一角でもあったことから、「こんな場所にあんな木を植えて」と町民の一部から批判を受けた。場所の配慮をしなかったこともあるが、私たちの行っている植樹に町民の理解をもらうための努力も足りなかったなど多くの反省があった。また、後に「魚つき林」をつくる為には針葉樹と広葉樹などの混合林づくりが必要なことを学んだが、広葉樹の苗木が高額とあって資金の関係上針葉樹主体とせざるを得なかった。

平成２年には、様似町が「様似町グリーンフェスティバル」として町内の山村広場の土堤に植樹を企画してくれたので、冬島漁協女性部と合同で参加しクロマツと桜を植樹した。

平成３、４年は、「様似町植樹祭」として完成したばかりの幌別川さけます孵化場の

周りに冬島漁協女性部と合同でクロマツを主体として植樹を実施した。

平成５年は、土地改良区環境整備事業として様似ダム公園に日高ゴヨウマツと桜を植樹した。翌平成６年には、町による「様似町一人１本植樹運動促進事業」が企画されたが、悪天候の為中止となった。

平成７年になり、これまで様似町の理解と協力の下に実施してきた植樹活動が、この年初めて北海道との連携を取ることが出来た。きっかけは北海道日高支庁長と女性部長との懇談会の席で「魚つき植樹」を話す機会を得、女性部長が植樹の場所の提供をお願いしたことだった。支庁林務課より植樹場所として道有林の提供と、更にトドマツの苗木を頂くことができ、これを冬島漁協女性部と合同で植樹した。

平成８年に入ると、北海道森林組合連合会の実施事業である「豊かな緑と海を育む森林づくり推進事業」・「お魚殖やす植樹運動への支援」がスタートし、森林組合から苗木の提供を受けた。これにより、以後官民一体となった「魚つき植樹」が確立したのである。

これらは、北海道女性部連絡協議会の働きかけにより実現した植樹活動における大きな出来事であったが、各地区の漁協女性部が地道に行った植樹活動があったからこそ実ったのだと、その一員として自負している。

平成９年以降は、北海道、様似町、北海道森林組合の支援を受けて毎年漁民の森づくり植樹活動を行っている（図３）。

効果

「森、森林」という言葉に無頓着だった私たちが「魚つき植樹」を行うことで、漁協女性部員、青年部員、漁業者が森林の大切さを理解すると共に「魚つき植樹」が特別な言葉ではなく、ごく普通の言葉として受入れられるようになった。これは私たちが地道に活動してきた結果であり、また、この活動を深く理解し支援して下さる行政、森林組合、そして漁協があるからこそ実施することができた。また、「魚つき植樹」の記事を漁協の広報誌に掲載してもらい森林の大切さを呼びかけたことも、漁業者の植樹の意識高揚を図ることにつながった。

私たちが植えた木が、漁業にどのような影響を与えるかはっきり分かるのは、５０年、いや１００年先のことだ。だが漁協女性部員全員が植樹活動に参加する尊さと部員の絆を見直すことが出来、活動の停滞、部員の減少が顕著となっている女性部活動の活性化となった事も大きな効果の一つと言えるのではないだろうか。

私たちが地道に活動した実績が認められ、平成１３年１０月２５日「みどりの環境づくり実践活動優良団体」として知事の感謝状を冬島漁協女性部と共に受賞した。

6. 波及効果

私たちが植樹活動を続けたことにより漁協は固より様似町、北海道、北海道森林組合という、多くの協力と理解とを得ることが出来た。また、植樹の都度、地方新聞、町、漁協の広報誌等にも紹介され、更に広く町民の理解を得ることが出来た。

7．今後の計画と問題点

今までは森林関係者により森林の整備保全が行われて来た。しかし北海道森林条例が制定され、その基本理念に掲げられているように、一道民として、また、漁業関係者として森林づくり計画に深くかかわりを持ちながら私たち、様似漁協女性部は「魚つき植樹」に継続して取組んでいく思いでいる。

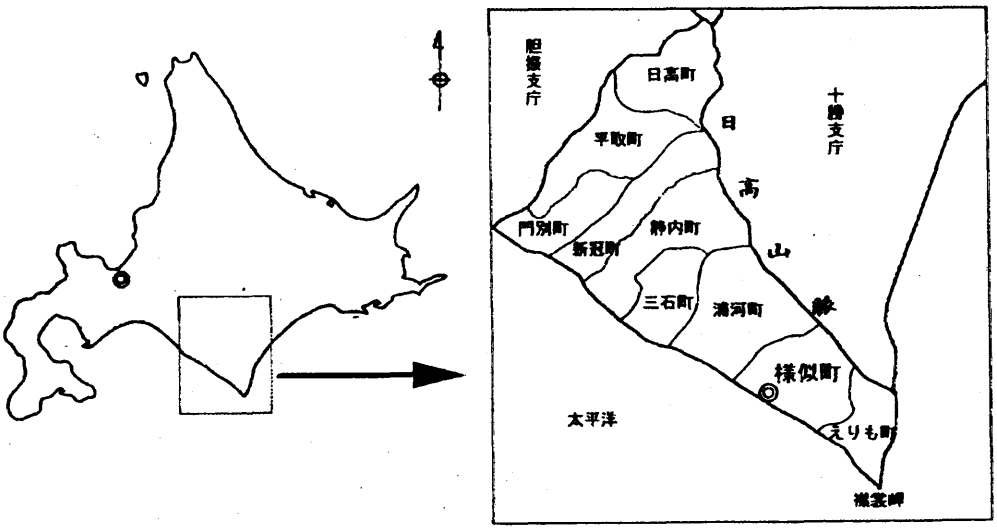


図１　地域の位置

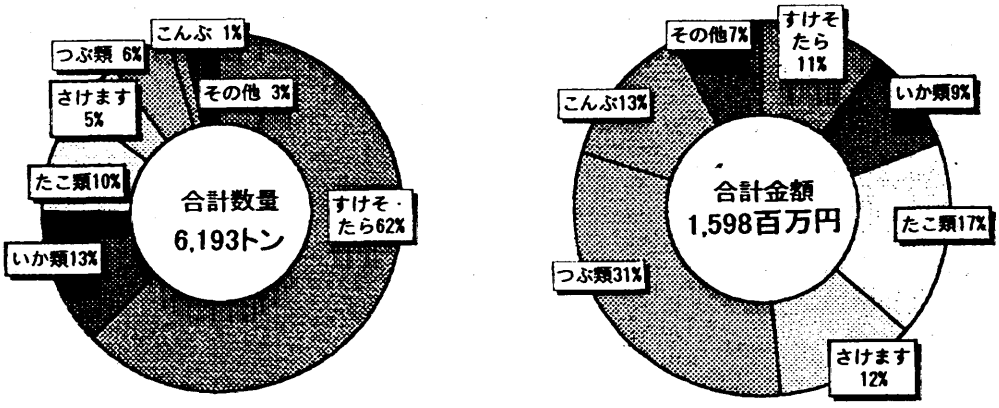


図２ 主要魚種別水揚げ（平成13年）

年度 / 種類	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
クロマツ	500	500	5,000	500	500			
サクラ	50	50	200		50	20		
白樺				200			中	
トドマツ							止	700
カシワ								
ゴヨウマツ						100		
日本クロマツ(ポット)								
合計	550	550	5,200	700	550	120	0	700

年度 / 種類	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	合計
クロマツ		1,300	1,800	2,000				12,100
サクラ								370
白樺								200
トドマツ	700				500			1,900
カシワ	400							400
ゴヨウマツ								100
日本クロマツ(ポット)						200	400	600
合計	1,100	1,300	1,800	2,000	500	200	400	15,670

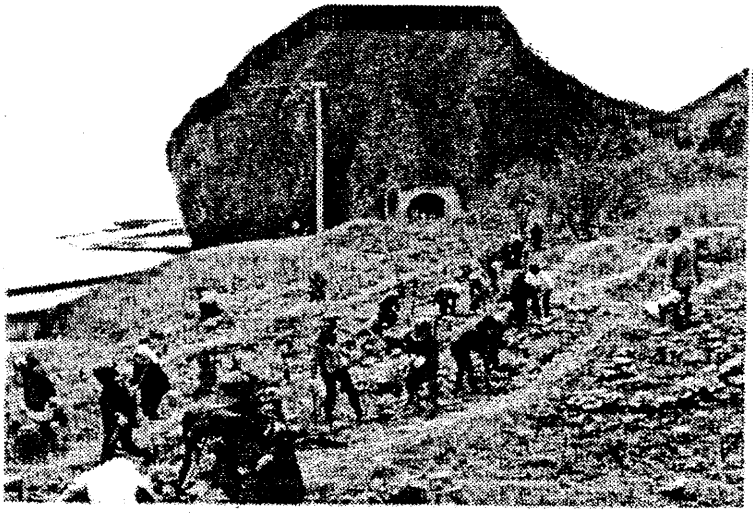
図３ 植樹実績

11/7

様似・冬島両漁協婦人部に知事から感謝状

豊な海づくりのため、森に植樹を続けている様似漁協婦人部（住岡操部長・会員133人）と冬島漁協婦人部（飯田美穂子部長・会員158人）が、道の「みどりの環境づくり実践活動優良団体」に選ばれ、知事感謝状が役場で伝達されました。

町広報誌より抜粋



魚つき植樹風景

魚つき植樹風景

知事感謝状

様似漁協婦人部

平成元年から道漁婦連創立３０周年記念行事として進められた魚つき植林運動が切っ掛けとなり以後毎年冬島漁協婦人部と合同で地道に植樹活動をしてきた功績に対し、この度、北海道の十三年度みどりの環境づくり実践活動優良団体表彰を受けた。

森は魚のふるさと

日本列島は東西に伸びた島国であり暖流と寒流の交じり合う風土の中から森をはじめとする自然と共存する日本の漁業が発達してきた。

森林は、環境の保全、木材の供給、野生生物の生息そして、水産資源の源なのです。

雨は、森林が作る腐葉土にしみ込み魚介類の餌となるプランクトンや海藻類に必要な鉄成分を含んだ栄養分に富んだみ水を海にそそいでくれるのです。豊富な森林は動植物を育むだけでなく、降った雨水を、一度に放出せずに森林にためる保水機能を有しており土砂や泥水が沿岸域に一度に流出することを防ぎ上質の土砂と栄養に富んだ水を海にそそぎ砂浜や干潟を作り魚介類の生息地を作るのです。

道漁婦連は、各地区の漁協婦人部に対し、魚を増やす森林の機能を理解し、自然にみちた豊な浜を孫子の代まで残しましょう、を合言葉に植樹活動を行なっています。

魚つき植樹風景

北海道森林作り条例

検討懇談会

十月三十一日日高支庁に於いて北海道の森林に関する条例検討に係る懇談会が、管内町村、森林組合、漁協、漁協婦人部、林業業者建設協会等関係者の代表による懇談会が開催され、当組合から専務住岡婦人部長、福川総務部長が出席した。

北海道の森林は、道民の暮らしに欠かせない貴重な財産であり、北海道らしい森林を道民の理解と協力のもとに大切に守り育て、未来に引き継いでいく必要があり、広く道民の意見を聞きより良い条例を制定したい。と道水産林務部黒川森林計画課長が挨拶された。

森林が持っている多様な働きとして

一、洪水や渇水を防ぎ生活に必要なおいしい水を提供する働き。

二、自然災害を防ぐ働き。

三、二酸化炭素の吸収、貯蔵により地球温暖化を防ぎ、酸素を供給する働き。

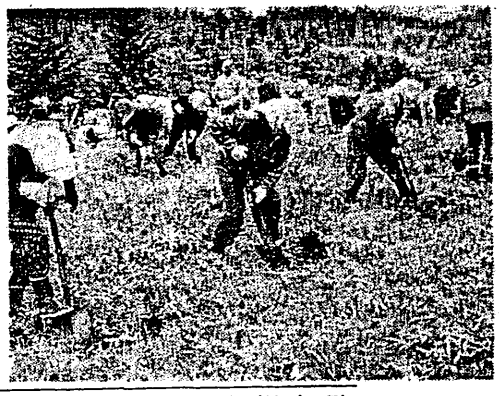
四、レクリエーションの場や様々

組合広報誌より抜粋

魚つき植樹風景

「魚増やす森」育て

様似　トドマツ700本植樹



アポイ山ろくに近い道有林で丁寧に苗木を植える漁協の婦人たち

【様似】冬島、様似両漁協婦人部主催、道有林管理センターなど後援の合同植樹祭が九日、アポイ山ろくに近い平宇地区の道有林で行われ、曇り空の下、約百六十人がトドマツの苗木七百本を植えた。

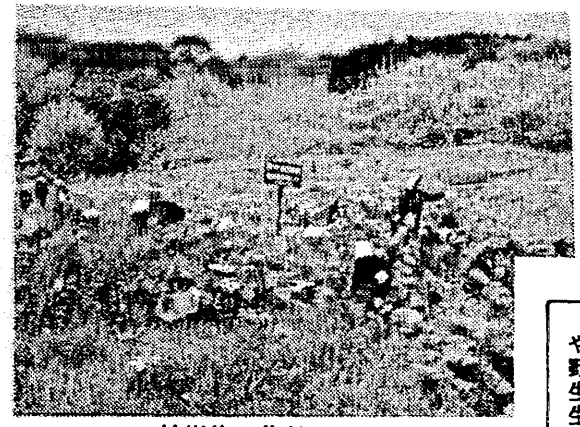
冬島漁協婦人部（布施幹子部長）と様似漁協婦人部（住岡操部長）は、森林を育てることで漁業資源の繁殖を図ろうと、一九八八年からクロマツ、桜などの植樹を進めてきた。八年目の今年は、両漁協婦人部からそれぞれ八十人が参加したほか、冬島漁協青年部からも二人が参加した。

植樹に先立つ開会式では、冬島漁協の布施部長が「お魚を増やす森の機能を理解し、植樹運動を積極的に展開し、自然に満ちた豊かな森を孫子の代まで残しましょう」とあいさつ。

続いて参加者は、およそ五千平方㍍の平地にちらばって

北海道新聞より抜粋

魚つき植樹風景



植樹後の草刈

植樹後の草刈

植樹運動はなぜ必要か？

森林は魚のふるさと

現在、漁協婦人部が毎年実施している植樹はなぜ必要なのか？

日本は、雨の多い酸性度の強い土壌、そして複雑な地形と長い海岸線を有し、暖流と寒流の混じりあう沿岸、このような日本の風土の中から森をはじめとする自然と共生する日本の漁業が生まれ、発達してきた。このため、古くから水産資源に対する森林の重要な役割が漁業関係者に認識され「魚付林」などが設けられ、さらに近年では漁業者が山に木を植える例が増えている。

森林は環境の保全、木材の供給や野生生物の生息地などの役割を果たすと同時に、水産資源にとっても次のような働きがある。

森林がつくる腐葉土にしみ込んだ水は、魚介類の餌となるプランクトンや海藻類を育てるのに必要な鉄成分などの栄養分に富んだ水となる。また、豊富な森林があると降った雨水は一度に流出せず、いったん森林にためられて徐々に河川に流れ、海にそそがれる。従って豊かな森林があるといつも栄養分に富んだ水が安定的に海に供給される。

豊かな森林は保水機能を持ち、土砂や濁水が一度に沿岸域に流失することを防ぐと同時に恒常的に上流から良質の土砂を供給し、安定した砂浜や干潟を作り、魚介類の生息地を作る。

道漁婦連は各地区の漁協婦人部に対し、魚を増やす森林の機能を理解し、植樹活動を積極的に進め、「自然にみちた豊かな浜を孫子の代まで残しましょう」を合言葉に植樹活動を推進している。

組合広報誌より抜粋